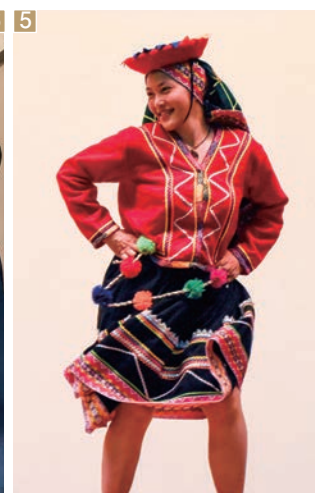




1 手作りのめんそーれに大感激 2 音楽に合わせてスペイン語を教えるセシリアさん 3 初めての納豆体験 4 ウラシー民間大使に任命 5 ペルーの民族衣装でパリチャを披露 6 三大王統まつりに参加 7 国際通りでパレード行進 8 JICAフェスティバルでブラジルを紹介する亜由美さん 9 ブラジルの絵本を読み聞かせ 10 イベント準備の様子 11 一緒に過ごした国際交流係のみんなと美ら海水族館へ



令和4年度 南米移住者子弟研修生受入事業 母国と浦添の架け橋に

浦添にルーツを持つブラジルとペルーの
研修生 4 人が過ごした 2 週間を紹介します。

離れていても、受け継がれる
ウチナーの心

本市では、昭和63年から南米に移住した浦添出身者子弟を研修生として受け入れています。研修期間中は日本語や琉球舞踊、三線、書道、華道といった沖縄の文化を学び、市民とのさまざまな関わりを通して、ルーツである沖縄・浦添について学習します。コロナ禍により、一時受け入れを中止していたこの取り組みでしたが、令和4年度は世界のウチナーンチュ大会の開催に合わせて3年ぶりに4人の研修生を迎えました。

今年受け入れた4人のうち3人は、過去に浦添で学んだ経験があります。今回は約2週間の短い研修期間でしたが、研修生たちは国際通りで行われたウチナーンチュ大会の前夜祭パレードに参加したり、ウラシinchu歓迎会で翻訳や通訳として活躍したほか、市内の子どもたちとの異文化交流や、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力交流フェスティバルに参加し、写真やクイズでブラジルとペルーを分かりやすく紹介しました。

研修で学んだ経験を各国の市人会に持ち帰り、今後世界のウラシinchuをつなぐ橋渡し役としてこれからの活躍が期待されます。

南米研修生 South America Trainee 2 週間の沖縄研修を終えて



ペルー出身(小湾3世)
知念 比嘉
アナ セシリアさん

宮城ヶ原保育所の子どもたちと一緒に過ごした日は、「めんそーれ」と書かれた看板で歓迎され、とても嬉しかったです。一緒に食べた給食は栄養バランスの取れたメニューだったのが一番印象的でした。研修中、私を家族の一員のように接してくれて、みんなの優しさに感動しました。



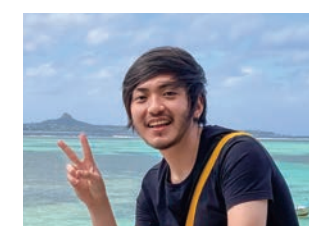
ペルー出身(当山3世)
安座間 平敷
ベアトリス 千恵美さん

「チムグクル」は国境を越えてウチナーンチュをつないでいると感じることができました。今はドイツに住んでいますが、ブラジル市人会のオンラインイベントで、私の沖縄での経験を共有します。通っている大学には外国人がドイツ語を学ぶグループがあるので、この機会に私の経験を伝えてみたいのです。



ブラジル出身(城間3世)
米須 亜由美 シンディさん

2週間という短い期間でしたが、沖縄でのことはとても貴重で素晴らしい場所だという思いでいっぱいです。帰国後はブラジルの市人会を継続していくために、SNSやメール、ブログなどで情報共有をしていきたいと思っています。



ブラジル出身(牧港3世)
当銘 フェリッペ ひろゆきさん